

カリキュラム・マネジメント実施計画

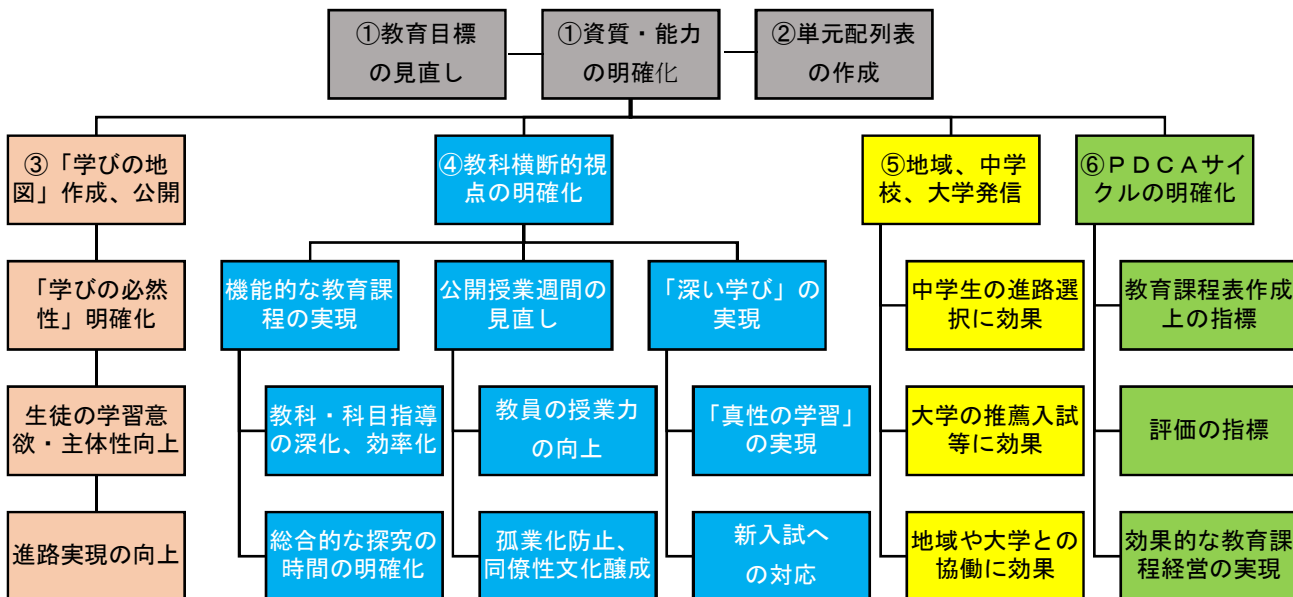
1 カリキュラム・マネジメントの定義（中教審答申、H28. 12. 21.）

- ①各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校教育目標を踏まえた教科等横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していくこと。
- ②教育内容の質の向上に向けて子供たちの姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立すること
- ③教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源も含めて活用しながら効果的に組み合わせること。

2 本校のカリキュラム・マネジメントの課題

- ①教育目標等の空文化 → 教育目標の見直し、「三つの柱」に基づいた「育成を目指す子どもの姿」確定
- ②教科横断的視点が希薄 → 「学びの地図」としての「単元配列表」の作成・公開
- ③PDCAサイクルの実施 → 「カリキュラムマネジメントモデル」と「チェックリスト」に基づく検証

3 カリキュラム・マネジメント実施の目的と効用

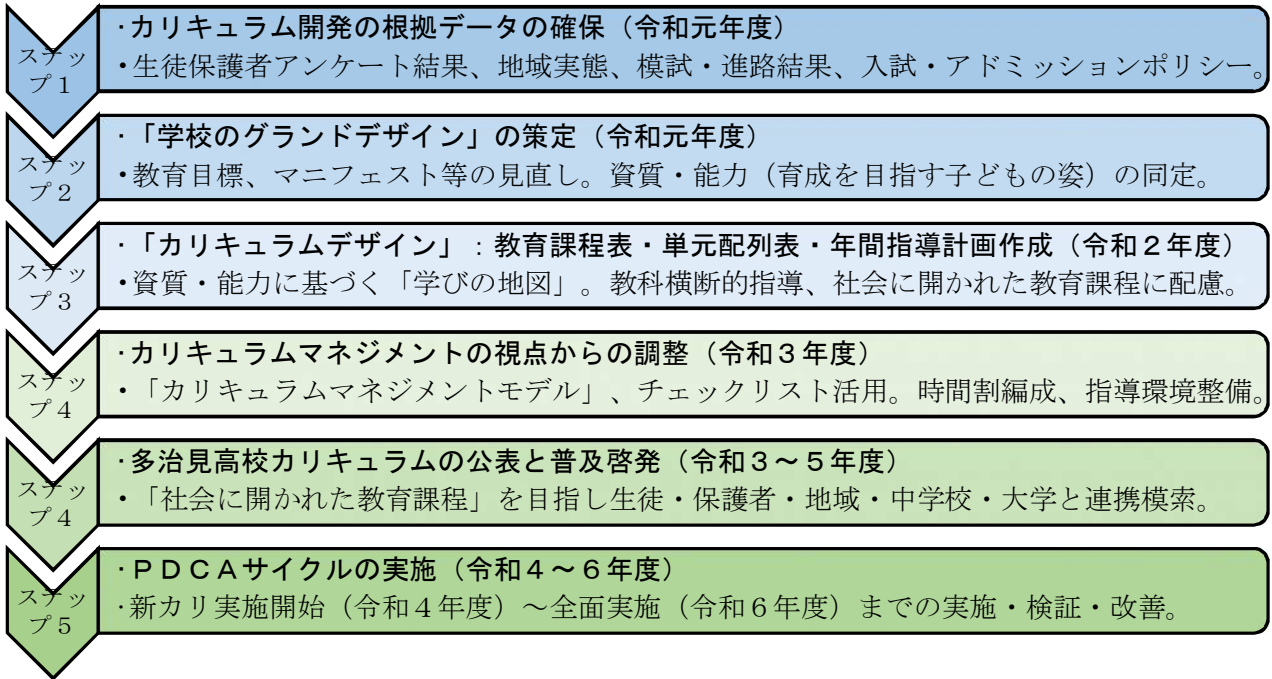


- ① 教員・生徒・保護者にとって現実的で分かりやすい教育目標に変更し育成する資質・能力を明確化できる。
- ② 「単元配列表」を作成することで教育目標、「資質・能力」の実現が容易になる。
- ③ 「学びの地図」を公開することで「学びの必然性」が明確化し、生徒の学習意欲や主体性の向上に繋がる。
- ④ 教科横断的視点を明確にすることで機能的な教育課程策定、授業力向上、「深い学び」の実現が容易になる。
- ⑤ 中学生、大学、地域への本校の効果的な発信や地域・大学との協働が容易になる。
- ⑥ PDCAサイクルを明確にすることで社会や生徒の変化に対応する教育課程経営が行いやすくなる。

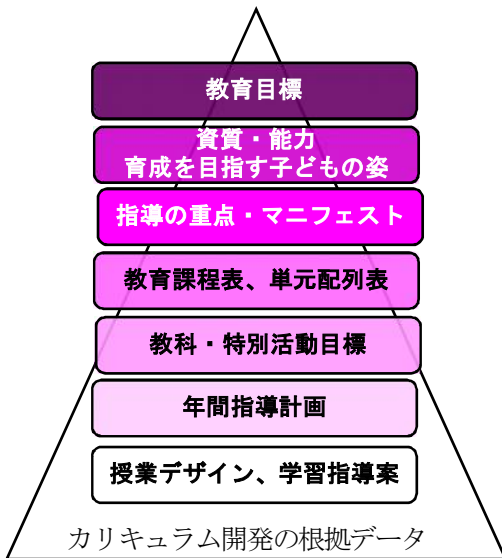
4 今後の日程

年度	国の動向	本校の取組日程
令和元年度	改訂内容の一部先行実施	教育目標等改訂、授業研究会実施
令和2年度	大学入学共通テスト実施、教科書検定	教育課程の審議・決定
令和3年度	新学習指導要領の教科書選定開始	1年次教科書選定、中学校等への広報・説明
令和4年度	新学習指導要領の実施開始	2年次教科書選定、教育課程の見直し
令和5年度	新学習指導要領に対応した新入試大綱発表	3年次教科書選定、教育課程の見直し
令和6年度	新学習指導要領の全面実施、新入試実施	教育課程の見直し

## 5 カリキュラム・マネジメントの実施計画



## 6 学校のグランドデザイン、カリキュラム・デザインの策定



【教育目標設定の観点】 例)「探究」、「協働」、「貢献」

- ①具体性：下位目標等で具体化できる目標である。
- ②現実性：生徒・地域・社会等の実態分析に基づいている。
- ③定着度：短く覚えやすいフレーズである。
- ④汎用性：生徒の多様な現状や可能性に対応できる。

【資質・能力（育成を目指す子どもの姿）の同定の観点】

- ①教育目標を3つの柱で具体化したマトリックス表で明示する。
- ②2030年を見据え、易・不易を考慮した資質・能力である。
- ③教科・特別活動、教科横断指導・総合的な探究の時間に反映

【単元配列表作成の観点】

- ①「学びの地図」として内容・順序・関係性の概要が俯瞰できる
- ②科目単元の繋がりを明示し教科横断的指導・学習を特定する。
- ③内容の繋がりと資質・能力の繋がりを区別して精選する。

育成を目指す子どもの姿	教育目標1	教育目標2	教育目標3
知識及び技能			
思考力、判断力、表現力	資質・能力の3つの柱に該当する具体的な育成を目指す子どもの姿		
学びに向かう力、人間性			

【単元配列表のイメージ】 → は内容の繋がり、-----▶ は資質・能力の繋がりを示す。

科目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
A	単元①	単元②		単元③		単元④	単元⑤		単元⑥		
B	単元①	単元②	単元③	単元④		単元⑤		単元⑥			
C	単元①	単元②	単元③	単元④	単元⑤		単元⑥		単元⑦		
総合	単元①		単元②		単元③		単元④		単元⑤		
特活	単元①	単元②	単元③	単元④	単元⑤		単元⑥				